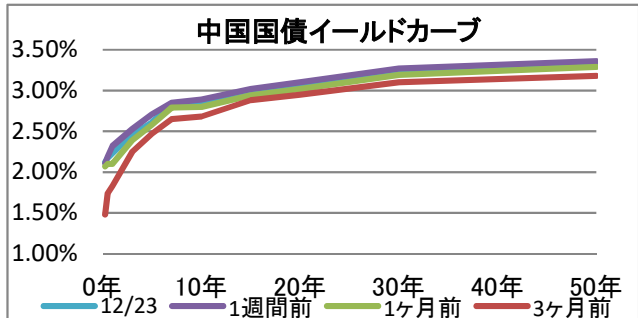
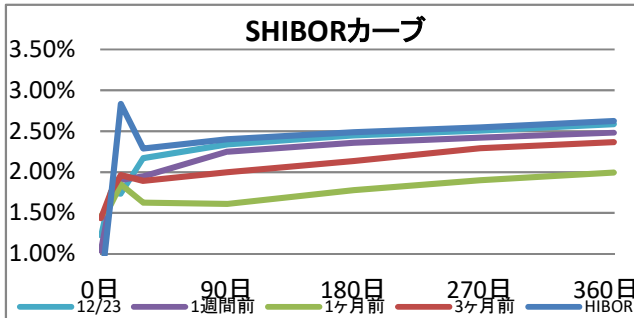


基準レート		2022/12/23	(前週末比)
人民元基準値	USD/CNY	6.9810	+0.0019
	JPY/CNY	5.2775	+0.2109
SHIBOR	3M	2.4020%	+0.0630%
国債利回り	10年	2.83%	-0.06%
上海総合指数		3,045.87	-121.99



(1) 概況

国際金融市場では、クリスマス休暇を控えて市場参加者が減少する中、日銀のイールドカーブ・コントロール運用見直しを受けて、世界的に債券利回りが上昇し、為替市場では円が他通貨対比で上昇。株価は、日経平均が大きく下げた一方、欧米では経済指標に対する前向きな評価と利上げ長期化懸念とが交錯し、一進一退の動き。

中国金融市場では、入国隔離政策の緩和観測が流れたが反応は薄く、コロナ感染急拡大による景気への影響懸念が根強く株価は続落。外為市場では、市場参加者が少ない中、元の対ドル相場は小動きとなる一方、対円では日銀の政策変更を受けて円高元安が進行。債券利回りは、年末要因等から上昇が続いたが、週半ば以降は中国人民銀行が年末越え資金を積極的に供給したこと、短期を中心に買戻しが入り落ち着きをやや取り戻した。

中国では、李総理が国務院常務会議で、一連の経済政策パッケージ推進により来年初の経済改善を目指すほか、プラットフォームの健全な発展を支持し、サービス消費の回復を促進する方針を示し、香港行政長官との会談では、中国と香港との人の往来に関し徐々に正常化に向けて推進する必要があると発言。中国人民銀行は、来年の主要任務として、的を絞った穏健な金融政策のほか、不動産業のM&Aを金融機関が支援するよう促す、プラットフォーム企業の金融業務を規範ある発展に導く方針を示し、上海自由貿易試験区で外貨一体銀行決済口座制度の試行を開始。証監会は、来年の主要任務として、資本市場の改革継続、上場企業の質向上推進等に加えて、プラットフォーム企業の海外上場成功例を増やす方針を示し、証券・資金決済のDVPに向けた改革の正式実施と香港証券監督当局と共同でストックコネクトの対象銘柄の拡大方針を公表。上海金融先物取引所や上海・深圳証券取引所は、株式・債券先物取引や株式上場手数料の減免措置を公表。

(2) 金融市場調節

中国人民銀行は、リバースオペ期日490億元に対して、リバースオペ7530億元（7日物：390億元、14日物7140億元）を実施し、ネットで7040億元を供給。

(3) 主な経済指標

主な統計公表はなし。

② 資金市場

(1) 人民元資金市場

	SHIBOR	無担保資金	レポ	NCD AAA
ON	0.5850%	0.8000%	0.3800%	
1W	1.6870%	1.8900%	1.5000%	
2W	2.8350%	2.9500%	4.1000%	1.0000%
1M	2.2870%	2.2000%	5.5000%	2.6000%
3M	2.4020%	3.5000%	2.7000%	2.4800%
6M	2.4890%	2.6890%		2.5200%
9M	2.5460%	3.0000%		2.5800%
12M	2.6260%	3.8300%		2.6200%

中国人民銀行の年末越え資金供給積極化による安心感から年末越えとなるターム物金利水準は漸く低下に転じている。ただし、1ヶ月物の3%台前半を中心とする取引を除いて出合いは限定的。

NCDも、年末越えとなるターム物の金利水準上昇が一服し、1ヶ月が2.5%後半、3ヶ月が2.5%前後、6ヶ月は2.5%台前半、1年が2.6%前後に週後半にかけて低下していく展開となった。

(2) 米ドル資金 (本土内)

	BID	OFFER
ON	4.30%	4.31%
1W	4.33%	4.35%
1M	4.55%	4.65%
3M	5.40%	5.50%
6M	5.40%	5.50%
12M	5.60%	5.70%

米金融引き締め長期化見通しが一段と強まったものの、クリスマスと年末を控えて一段と参加者が少なくなる中、短期の金利水準に大きな変化はなく、小動き。中国国内市場のターム物の金利水準は、ターム物は1ヶ月の4.5%台での取引を除き出合いは限定的。

③人民元債券市場

	国債	地方債AAA	金融債AAA	社債AAA	社債AA
3M	2.12%		2.45%	2.72%	3.18%
6M	2.17%		2.58%	2.80%	3.27%
1Y	2.23%	2.29%	2.68%	2.88%	3.42%
3Y	2.46%	2.67%	2.90%	3.30%	3.97%
5Y	2.61%	2.81%	3.15%	3.55%	4.21%
10Y	2.83%	3.07%	3.47%	3.75%	4.43%

債券市場では、日本銀行のYCC修正に伴い世界的に長期金利が上昇傾向となる中、ゼロコロナ政策転換によるコロナ感染急拡大による景気への懸念と中国人民銀行による多額の年末越え資金供給による安心感からしっかりとりの展開となり、利回りは短期を中心に全体的に低下している。米国債利回りは、米金融引締め長期化懸念から、10年米国債利回り（3.75%、+27bp）は上昇に転じる一方、中国国債利回り（2.83%、-6bp）は低下しており、米国債利回りの上回り幅は+92BP（前週比+33bp）と大幅な拡大に転じている。

イールドカーブは、上記要因から短期を中心に全体的に低下したことからスティーピングに転じている。また、景気悪化懸念から信用債の利回り低下が限定的となっていることから、クレジットスプレッドは一段と拡大している。

④先物為替市場

	USD / CNY
1M	-164.0 / -165.0
3M	-482.0 / -479.0
6M	-1014.0 / -1008.0
9M	-1520.0 / -1495.0
12M	-1927.0 / -1921.0

対ドル基準レートは6.9810と前週比+19pipsのドル高元安、対円基準レートは5.2775と同+2109pipsの円高元安と、対ドルでの小康状態と日銀のYCC修正による円高を映じた設定となった。中国国内市場では、クリスマスと年末を控え、コロナ感染急拡大も手伝い市場参加者の取引意欲が減退する中、米FRBの金融引締め長期化や中国でのコロナ感染急拡大による景気悪化が懸念され、ドル人民元は下値が堅く6.97台を中心とする小幅な値動きに終始。

先物も、直物の取引水準に大きな変化がなく、金利見通しも年末を控えた人民元の金利が高止まりし、米ドル金利も引き締め長期化懸念から大きな変化は見られず、1年物は-1900を挟んだ小幅な値動きとなりほぼ前週末と変わらず。

⑤金利スワップ

	Quarterly 7d Repo A/365	Quarterly 3M SHIBOR A/365 A/360	Annually O-N SHIBOR A/365 A/360
3M	2.04%		1.60%
6M	2.06%	2.39%	1.67%
9M	2.11%	2.40%	1.80%
1Y	2.17%	2.45%	1.85%
3Y	2.52%	2.83%	1.97%
5Y	2.73%	3.11%	
7Y	2.87%	3.27%	
10Y	3.02%	3.44%	

スワップ金利は、債券利回りの低下に伴い水準を下げており、スワップスプレッドも縮小している。

◆本資料は信頼できると思われる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされまようようお願い申し上げます。
◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等もご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目論見書をよくお読みください。